【記載例】

バリアフリー改修工事に伴う固定資産税減額申告書

令和□□年○○月××日	納税義務者	住所 (法人にあっては、 主たる事務所の所在地)	精華町□□○○丁目○○番地××												
精華町長 様		氏名 (法人にあっては、 名称及び代表者の氏名)	(フリガナ) ○○ ○○○○ ○○												
	1	個人番号又は法人番号		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*

精華町税条例附則第10条の3第8項の規定により、固定資産税の減額の規定の適用を受けたいので申告します。

家屋の所在		精華町□□○○丁目○○番地××							
居住者		☑ 6 5歳以上 □ 要介護又は要支援認定者 □ 障害者							
改修を必要とする人	住所	精華町□□○○丁目○○番地××							
	氏名	00 00)	年齢	70 歳				
家屋番号		○○番△△	種類又	は用途	居宅				
床面積		○○. ○○ m²	人の居住の用に 供する部分の床面積		○○. ○○ m²				
建築年月日		令和□□年○○月××日	バリアフリー改修工事に 要した費用		*, ***, ***円				
登記年月日		令和□□年○○月××日	上記費用のうち、 補助金等の額		***, ***円				
バリアフリー 完了した		令和□□年○○月××日							
備考(改修工事	「が完了した年」	月日から3か月以内に申告書を	提出することか	ぶできなかった場	易合は、その理由)				

- (注1) 申告書には、必要書類を添付してください。
- (注2) 「居住者要件」欄は、該当する項目にレ印を記入してください。
- (注3) 改修を必要とする人は、「家屋の所在」欄に記載の家屋に、住民登録されていることが必要です。
- (注4) 「家屋番号」欄は家屋が登記されている場合のみ記載してください。
- (注5) バリアフリー改修工事が完了した年月日から3か月以内に申告書を提出することができなかった場合は、その理由を「備考」欄に記載してください。

申請者	住 所	☑納税義務者と同じ	
	氏 名	☑納税義務者と同じ	
	連絡先	***-***	